

ヒメホウジャク (*Gurelca masuriensis*
 subsp. *sangaica* BUTLER) 及び
 ホシホウジャク (*Macroglossum pyrrhosticta*
 BUTLER) の幼蟲と蛹について

河 田 ^{アキラ} 黨
 (農林省農事試験場昆蟲部)

ヒメホウジャクの幼蟲として、長野菊次郎氏が、名和日本昆蟲圖説、第I巻に書かれた記載と圖とを見るに、尾角が比較的短く、且つ淡黄色で黒色の顆粒を有し、どうもこの種の幼蟲のものではなく、この種と同じくヘクソカヅラを食つてゐるホシホウジャクの幼蟲の記載及び圖であるやうに考へられる。又蛹についても、其の記載は「淡褐ニシテ尾端ニ鉤刺ヲ有ス。」とあつて、之は私の飼育して得たこの種の蛹と一致する所があるが、圖に掲けられた所のものは下顎が頭部の端で弧狀に彎曲して突出し、前翅外縁は波狀をなさず、尾突起は長く突出してゐて、ヒメホウジャクの蛹とは大分に異なり、寧ろホシホウジャクの蛹と全く一致してゐる。この點何らかの間違があるのではないかと考へられるから、以下更めて私の見た所を述べようと思ふ。

ヒメホウジャク (*Gurelca masuriensis* subsp. *sangaica* BUTLER)

幼蟲 (插圖 1)。

〔形態〕 頭部は圓形、少しく立方形をなし、高さは幅よりも長く、表面には細毛を有してゐるが、顆粒、皺等はない。前頭の高さは幅よりも長い。上

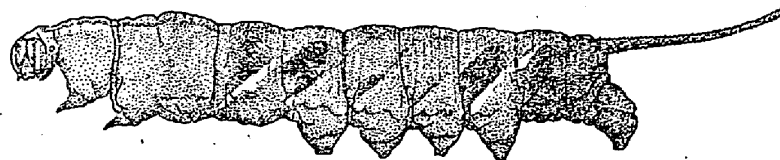


插圖 1. ヒメホウジャク (*Gurelca masuriensis*
sangaica BUTLER) の幼蟲(第一型)(×1.5)。

唇には6個の刺毛が有つて、iiはiよりも下に、iiiはiiよりも下にある。後胸及び第1腹環節は殆んど膨らむことなく、胴部の表面にも細毛を散布する、各環節には9個程の浅い横皺がある。尾角と體の表面との界は僅かに凹み、尾角は細く、長く、長さ頭部の高さの4倍に達し、細かい刺を密生する。肛上板及び肛側板には細毛を密生してゐるが、特に隆起を有してはゐない。

體長、46-55mm.

〔色彩〕 色彩には四つの型がある。

第1型。暗紫色で、淡色の細點を散布する。頭部の正面は淡色を呈して、側面に1本の淡色條がある、第1-7腹環節背面には各環節1個づつ、少しく淡色で、少しく濃色の縁を有する不鮮明な菱形紋が連らなつてゐる、背線は少しく濃色で、その中央を通過してゐるが、餘り明かでない。亞背線は淡色で、前胸から尾角に續く。側面には第2-7腹環節に互つて5個の淡色斜線を有し、第2腹環節にあるもの及び第6から第7腹環節に互るものは純白である。各條の前方では體色は稍濃色を呈し、殊に第2、第3及び第6腹環節では濃紫色を帯びてゐる。第7腹環節以後は少しく濃色、腹面中央は淡色。胸脚は淡褐色で、黒條を有する。尾角は紫灰色で、黒色の細刺を密生する、氣門は濃褐色で、背腹兩端に白色點を有する。

第2型。黄褐色で、暗紫色の斑紋があり、全體に淡色の細點を散布する。頭部は暗紫色、正面は淡色、側面に1本の淡色條がある。胴部は亞背線から背面は暗紫色を呈し、第1-7腹環節背面には各環節1個づつ不鮮明な淡色の菱形紋を連らね、その周圍は稍々濃色に縁取られてゐる。背線は少しく濃色で、不鮮明。亞背線は淡色で、前胸から尾角に續く。胸部の側面及び腹面は暗紫色で、黄褐色の細い不規則な斑紋が散在し、腹部は第4、第5腹環節を除いて他は側面黄褐色で、暗紫色の細い不規則な斑紋が散在してゐるが、第4、第5腹環節は灰紫色を呈する。第1-8腹環節に互つて、暗紫色の斜線8個あり、第3-6腹環節のものはその後縁に沿つて白線を伴つてゐる。氣門下線から腹面、腹脚、肛上板及び肛側板は暗紫色、胸脚は淡紫色で、基部は暗紫色を呈し、黒條を有する。尾角は紫灰色で、黒色の細刺を密生する。氣門

は褐色で、背腹両端に白色點を有する。

第3型。黄綠色で、暗紫褐色の斑紋あり、全體に淡色の細點を散布する。頭部は黄綠色で、暗紫色の1條がある、亞背線を界として背面は胸部及び第3-10 腹環節では暗紫褐色を呈し、第3-7 腹環節に互つて各環節1個ずつ背面の中央に連なつてゐる菱形の紋は黄綠色であるが、第4 腹環節では淡い暗紫褐色で、その周縁は少々濃く縁取られてゐる。背線は暗紫褐色であるが連続してゐない。側面は黄綠色で、第3 腹環節の後半及び第4 腹環節の大部分及び第2, 第5 腹環節に存在する紋は暗紫褐色。胸部の氣門下線より腹面、第1 腹環節の腹線の兩側、及び第2-10 腹環節の基線より腹面は暗紫色。腹線は少々淡色。胸脚は淡黄色で、黑色條を有する。尾角は紫灰色、黒い細刺を密生する。氣門は褐色で、背腹両端に白色の點がある。

第4型。黄綠色で、淡色の細點を散布する、頭部は綠色で、側面に1本の淡色條を有する。胸部は綠色、腹部は黄綠色。背線は少々暗色である。亞背線、及び第1-8 腹環節に互つて側面に存在する8個の斜線は共に淡色。胸脚は淡紫色で、黒條を有する。尾角は綠褐色で、細かい黒色の刺を密生してゐる。氣門は橙色、

蛹(插圖2)。

〔形態〕 長さは比較的短く、頭部、胸部、脚、翅の表面にはあるかないかの細かい皺がある。觸角は前胸脚の末端を越えない。上唇は頭部の先端に存在し、上顎疣(Mandibular tubercle)はない。下顎は殆んど頭部の先端から始まつて、頭部の端で弧狀に彎曲し或は突出することなく、その先端は翅端に及ぶ。前翅外縁は波狀を呈する。腹部の環節は表面に多少不規則な點刻を有してゐるが餘り甚しくなく、各環節の前縁にのみ甚だ細かい點刻が密に散在する。第5-7 腹環節の氣門の部分は稜をなし、その前方には溝を有することなく、

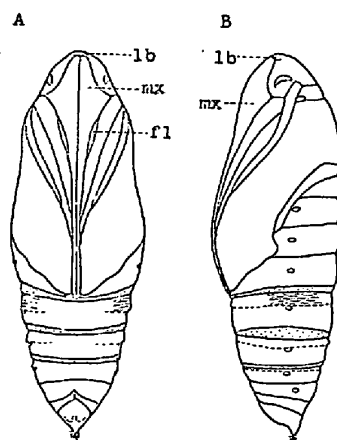


插圖2. ヒメホウジャク
(*Gurelca masuriensis*
sangucia BUTLER) の蛹
(×1.5)。

lb. 上唇; mx. 下唇;
fl. 前脚腿節。

唯少しく不鮮明な横皺を有するに過ぎない。そしてこの稜は延びて背面にまで及んでゐる。尾角の痕跡は小さく、凹凸もない。尾突起は小さく、塊状で、多くの叉状の鉤が密に附着してゐる。

體長、22-29mm. 幅、7-9mm. 厚さ、7-9mm.

〔色彩〕 淡い暗黄褐色。氣門及び後胸背板上の1對の斑紋は黒色。前胸脚腿節には1個の褐色紋を有してゐる。各腹環節背面の點列は淡褐色。腹部の可動環節の後縁は褐色の帶をなしてゐる。尾角の痕跡には數個の褐色紋があつて、腹脚の痕跡は多少褐色を呈する。尾突起は黒色。

附記：私は野外で、この種の繭が地上約1米突半の所にヘクソカヅラの生きてゐる葉を綴つて作られてゐるのを採取した。スズメガ科のものでこの様に、地中或は地面を離れて、植物の葉の間に繭を作ることは珍しいことではないかと考へる。

ホシホウジャク (*Macroglossum pyrrhosticta* BUTLER)

幼蟲(插圖 3)。

〔形態〕 頭部は圓く、少しく、立方形をなして、高さは幅よりも少しく長く、表面には細毛を生じてゐるが、顆粒、皺等は殆んどない。前頭の高さは幅よりも長い。上唇中央の縊れは中庸で、6對の刺毛を有し、iiはiよりも、iiiはiiよりも下にある。後胸及び第1腹環節は殆んど膨らまず、各環節には8個ばかりの浅い横皺がある。尾角と體の表面との界は僅かな凹みで示されてゐる。尾角は比較的太く、長さは頭の高さの2倍強で、細かい刺が密生してゐる。肛上板には特に隆起はない。

體長、49-50mm.

〔色彩〕 色彩には凡そ二つの型を見ることが出來た。

第1型。黄褐色で、紫色を帶び、淡色の細點が一面に散布されてゐる。頭部の正面は宏く淡色帶をなし、側面にも1本の淡色條がある。胴部は亞背

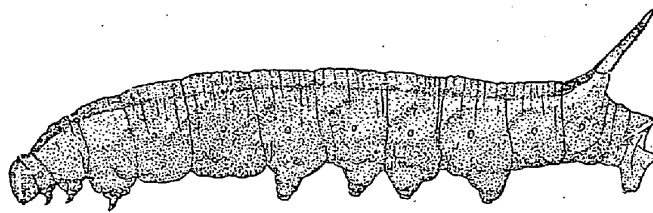


插圖 3. ホシホウジャク (*Macroglossum pyrrhosticta* BUTLER) の幼蟲(第一型)($\times 1.5$)。

線を界として、背面は少しく濃色を呈する。亜背線は黄白色で、その外縁は少しく濃く縁取られ、前胸から尾角に及んでゐる。側面には第1腹環節から第7腹環節に亘つて7條の濃色の斜線を有する。氣門下線から腹面は徐々に濃くなつてゐる。胸脚は黄橙色。尾角は黄褐色で、紫色を帯び、黒色の細い刺を密生し、先端は黄色で、同じく黄色の細刺が生じてゐる。氣門は橙色。

第2型。第1型と斑紋は全く同じであるが、體の色が帶紫黄褐色でなくて、黄綠色である。胸脚は明橙色で、基部に黒色部を有する。尾角は明橙色で、淡黒色の細かい刺が密生し、先端は第1型と同じく黄色で、黄色の細刺を密に生じてゐる。

蛹(插圖 4)。

〔形態〕 頭部、胸部、脚及び翅の表面は滑か。觸角は♂では少しく長く、前胸脚の先端を越えてゐるが、♀では越えてゐない。上唇は背面、頭部の先端から遙か後方に存在し、上顎疣 (Mandibular tubercle) はない。下顎は上唇に接して背面に起り、前方に突出して頭部の端を弧狀に迂回し、腹面に沿つて走り、翅の先端に及んでゐる。前胸脚腿節の一部は極く僅かに現はれてゐる。前翅の外縁は波狀をしてゐない。腹環節の表面には多少不規則な點刻が散在し、第5-7腹環節の氣門の部分は稜をなして、この稜は長く背腹に延びてゐる。この稜の前方には溝を有することなく、點刻が殊に明瞭に見られる。尾角の痕跡には凹凸がない。尾突起は長梯形を呈して、先端は叉狀を呈する。

體長、37-40mm. 幅、9-10mm. 厚さ、9-10mm.

〔色彩〕 黄褐色、不規則な小褐紋が散在する。頭部、胸部には黒色の背線があり、腹面にも下顎の中央と同様に黒色の線が走つてゐる。氣門、前翅の後縁、腹脚の痕跡は黒色。尾突起は暗赤褐色。

附記、不幸にして野外ではこの種の繭を見たことがないが、飼育した所ではその食草であるヘクソカヅラの葉を絲で綴つて繭を作る。

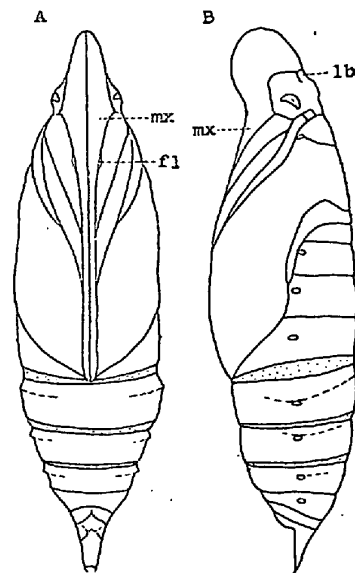


插圖 4. ホジホウジャク
(*M. croglissum pyrrhoesticta* BUTLER)
の蛹(×1.5)。符號は插圖2と同じ。